

【記入例】

別記様式第5号

文書番号がなければ削除をお願いします。

番 号
令和〇年〇月〇日

独立行政法人農畜産業振興機構理事長 殿

所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号

取組主体名 〇〇加工用キャベツ出荷組合

役職 代表者氏名 組合長 〇〇 〇〇

採択年度を記載してください。

令和7年度国産野菜周年安定供給強化推進事業実施状況報告書(令和7年度)について

~~—(国産野菜周年安定供給強化推進事業成果報告書について)—~~

取組の実施年度を記載します。

持続的生産強化対策事業実施要領(令和4年4月1日付け3農産第3175号、3畜産第1993号農林水産省農産局長、農林水産省畜産局長通知)別紙2のI-Iの第14~~(第15)~~の1の(1)に基づき、別紙のとおり関係書類を添えて報告します。

1年目・2年目まで提出する「実施状況報告書」の場合は、カッコ書きを削除します。

3年目の報告の時は、「成果報告書」として提出するため、上部に記載している「〇〇年度国産野菜周年安定供給強化推進事業実施状況報告書について」を削除し、本文2行目末尾を第15とします。

(注) 承認された事業実施計画から軽微な変更がある場合、承認を受けた事業実施計画書の写しに変更箇所を加筆修正し添付すること。

※郵送で申請する場合は、欄外に責任者及び担当者の氏名及び連絡先を記載すること。

〇〇〇〇組合

責任者：事務局長 〇〇 〇〇

担当者：係長 〇〇 〇〇

電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

E-mail：〇〇〇〇@△△△△

1 取組主体の概要

団体名及び所在地	(団体名) ○○加工用キャベツ出荷組合
	(所在地) ○○県○○市○○町○丁目○番地○号
代表者名	組合長 ○○ ○○
担当者名	△△ △△、□□
	(TEL) 012-345-6789
	(E-mail) abcd@efg.hi.jp

最新(直近)の事業実施計画から転記します。
※代表者名や担当者名等の変更がある場合は、変更箇所を加筆修正した事業実施計画書の添付が必要です。

(注) 担当者は、本事業の実施及び会計手続等の窓口となる者を記載する。

2 取組期間及び対象品目

取組期間	令和7年度～9年度	対象品目	キャベツ (11月又は1～5月)
用途	加工・業務用		

(注) 1 「用途」については、加工・業務用又は生食用のいずれかを記載する。

2 「対象品目」については、対象出荷期間
対象出荷期間を記載する。

要領で対象出荷期間の定めがある品目の場合には、()に当該期間を記載します。

3 産地の現状等

(例) ○○の農業は、これまで、□□等の作物生産を主体とした農業生産が展開されており、○○年頃より、○○の栽培を進めてきたところであるが、□□については・・・・のような問題が生じている。

(※記入例を参考に営農に関する現状(栽培作物・面積)、野菜の生産状況、課題について具体的に記載すること。)

令和9年度の成果目標の達成に向けて実施した令和7年度の産地の現状について、事業実施計画「3.産地の現状・課題」及び「4.産地の取組」の記載内容をベースに、営農に関する現状(栽培作物・面積)、生産・出荷に係る状況や課題・問題点などを具体的に記載してください。

4 達成状況

指標項目	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和9年度)	取組状況(実績値)		
			1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)
①対象出荷期間における出荷割合の確保	45.0%	83.3%	55.0%	—%	—%

本報告書(1年目)の場合、
事業ほ場における契約取引の全体の出荷量:310.5t
対象出荷期間の出荷量:170.8t
(計算式) $170.8t / 310.5t = 55.008$

指標項目	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和9年度)	取組状況(実績値)			達成率 (評価) (%)
			1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	
②対象出荷期間における出荷量の増加	90.0t	250.4t	170.8t	—t	—t	—%

現状値及び目標値については、事業実施計画から転記します。
なお、記載しない箇所は、空欄ではなく、「—(ハイフン)」を記載してください。

(注) 1 各指標

現状値及び目標値は、事業実施計画の5から転記する。

- 2 ①の取組状況欄には、事業対象ほ場における契約取引の全体の出荷量及び対象出荷期間の出荷量をもとに、出荷割合(%) (小数点第2位で四捨五入し、算出した割合) を記載する。
- 3 ②の取組状況欄には、対象出荷期間の取組主体における契約取引による出荷量(t) (小数点第2位で四捨五入し、算出した出荷量) を記載する。
- 4 ②の達成率欄には、3年目の実績値を目標値で除した割合(%) (小数点第2位で四捨五入し、算出した割合) を記載する。

〈添付資料〉

- ・取組状況等の根拠資料(考え方等)



令和7年度の対象出荷期間における取組状況の算出根拠として、**出荷量の集計表等(整理表)**を添付してください。

5 取組の効果及び改善方策等

	取組の効果	課題	改善方策	備考
1年目 (令和7年度)	〇〇の導入及び××の取組等により△△が□□となり、◎◎の効果があった。	〇〇の時期の××が△△のため□□であった。	〇〇を××することで△△する。	—
2年目 (令和8年度)	—	—	—	—
3年目 (令和9年度)	—	令和7年度の成果目標の達成に留意の上、各項目に関して、数値を用いる等により具体的に記載してください。		

6 契約に基づく出荷実績

	現状 (令和6年度)	1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)
契約者名 (実需者、中間事業者)	1. ABCベジ加工(DEF流通) 2. …	1 〇〇食品(△△商事) 2 〇〇フーズ(△△商事) 3 〇〇漬物(△△商事)	—	—
出荷期間(実績) (契約期間)	令和6年9月～令和6年12月 (令和6年9月～令和6年12月)	令和7年11月～令和8年4月 (令和7年11月～令和8年4月)	令和8年3月までに契約期間が終了した場合、実績報告書から転記します。 令和8年4月以降も出荷が継続した場合、対象契約履行報告書から転記します。	
出荷数量(t) (契約数量(t))	200.0 t (200.0 t)	310.5 t (300.5 t)	—	—
換算面積(ha) (契約換算面積(ha))	6.6 ha (6.6 ha)	10.3 ha (10.0 ha)	—	—
出荷数量のうち対象出荷期間における出荷数量	90.0 t	170.8 t	小数点第2位を切り捨て	
出荷面積(ha) (契約面積(ha))	—	—	—	—
出荷面積のうち対象出荷期間における出荷面積	—	—	—	—

事業実施計画書の6において、現状欄の契約出荷の実績がある場合は、現状欄の契約出荷の実績を記載します。

本報告書の場合、対象出荷期間(12月以外)における出荷数量を記載します。

単収	3,000kg/10a
----	-------------

事業実施計画書から転記します。3年間値を変更することはありません。

- (注) 1 契約者名欄には、対象契約の相手方を記載する。
- 2 契約方法に合わせて出荷数量又は出荷面積（小数点第2位を切り捨て、ha 単位で記載する。）の該当する方を記載する。
- 3 現状の数値は、原則として計画策定時の直近のデータを記載する。
- 4 数量契約の場合、出荷数量は対象契約に基づく出荷数量の実績を記載し、契約数量は契約時の数量を記載する。
- 5 数量契約の場合、換算面積（小数点第2位を切り捨て、ha 単位で記載する。）は、出荷数量を単収で除して記載し、契約換算面積は、契約数量を単収で除して記載する。
- 6 数量契約の場合、出荷数量のうち対象出荷期間における出荷数量は、対象契約に基づく出荷数量のうち対象出荷期間の出荷数量の実績を記載する。
- 7 面積契約の場合、出荷面積は、対象契約に基づく出荷面積の実績を記載し、契約面積は契約時の面積を記載する。
- 8 面積契約の場合、出荷面積のうち対象出荷期間における出荷面積は、対象契約に基づく出荷面積のうち対象出荷期間の出荷面積の実績を記載する。
- 9 単収は、事業実施計画の6から転記する。

対象出荷期間が特定されていない品目については、出荷数量（出荷面積）と同じ値を記載します。

〈添付資料〉

- ・ 契約書又は契約内容確認書の写し
 - ・ 契約の履行実績が確認できる資料の写し（契約相手との荷受証明書等）
 - ・ 栽培出荷実績（生育ステージ及び出荷期間の実績が分かるもの）
- ただし、既に提出している場合にあっては、省略することができる。

実需者の押印のある**履行実績が確認できる証明書類を作成**してください。履行実績が確認できる証明書類の作成が困難な場合には、出荷伝票に基づく集計表（出荷実績明細書）を添付した出荷実績を申告する書類を作成してください。

1年目の実施状況報告であって、既に実績報告書等により契約の履行実績が確認できる資料を提出しており、当該資料で対象出荷期間における出荷数量（出荷面積）を確認できる場合は、追加で添付資料を提出する必要はありません。

7 補助金所要額

事業対象面積 (ha)	単価 (万円/10a)	補助金額 (円)	備考
10.0ha	15	15,000,000円	

実績報告書から転記します。なお、対象契約の履行、取組の実施ができなかったことにより、事業対象面積の縮小や補助金額の減額があった場合は、備考欄にその理由（未取組、証拠未整備など）と、事業実施計画上の事業対象面積や交付決定額を記載します。

8 事業内容 取組期間（令和7年度～令和9年度）

① 生産・流通体系の構築及び出荷期間の拡大のための取組			
対策項目	取組内容	取組時期 (年月)	事業ほ場面積 (ha)
a 事業ほ場の設定	事業ほ場を特定し、当事業を実施していることが分かる表示標を、ほ場ごとに最低1ヶ所設置した。	令和7年7月～ 令和7年11月	10.0ha
b 実需者等との一定期間の事前契約の締結	出荷を開始する前までに、実需者と書面により、契約年月日を明らかにした契約を締結した。	令和7年9月	10.0ha
c 新規作型の導入	実需者の指定する加工に適した品種（●●●）を導入した。	令和7年7月～ 令和7年11月	10.0ha
d 生産コストの低減	〇〇機や××を導入し、△△に係る時間の縮減を行うことにより労働コストを低減した。	令和7年8月～ 令和8年1月	10.0ha
e 流通コストの低減	〇〇を導入し、出荷を□□することにより、流通コストを低減した。	令和7年11月～ 令和8年4月	10.0ha
f トレーサビリティシステム等の活用	実需者からの求めがあった際に、速やかに生産者が特定できるよう〇〇〇〇を行った。	令和7年11月～ 令和8年4月	10.0ha

g 出荷量の安定に向けた取組	出荷期間の拡大のため、××××を 活用し、□□□□した。	令和7年11月～	10.0ha
		令和8年4月	

実績報告書の別紙の2から転記します。

- (注) 1 取組内容欄には、事業実施計画に基づき実施した取組の内容及び使用した資材等を記載する。
- 2 取組時期欄には、当該取組が行われた年月を記載する。
- 3 事業ほ場面積欄には、当該取組が行われた面積を記載する。
- 4 1つの対策項目において、複数の取組を行った場合は、取組内容ごとに記載する。

〈添付資料〉

生産・流通体系の構築及び出荷期間の拡大のための取組状況が確認できる資料の写し。

(例：作業日誌の写し及び取組写真、購入伝票の写し等)

ただし、既に提出している場合にあっては、省略することができる。

1年目の実施状況報告であって、既に実績報告書等において提出済みの書類は添付不要です。
 ※令和8年4月以降も出荷が継続した場合であって、実績報告時に未提出又は未記入の項目があった書類については、再提出が必要です。

② 作柄安定技術の導入のための取組									
対策項目	1年目			2年目			3年目		
	取組内容	取組時期 (年月)	事業ほ 場面積 (ha)	取組 内容	取組 時期 (年月)	事業ほ 場面積 (ha)	取組 内容	取組 時期 (年月)	事業ほ 場面積 (ha)
a 土層改良・排水対策	・プラウ 耕 ・高畝栽培	令和7年8月～令和8年1月	10.05	—	—	—	—	—	—
小計			10.05ha			—			—
b 病害虫防除・連作障害回避対策	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計			—			—			—
c 地温安定・保水・風害対策	・寒冷紗の使用	令和7年7月～令和7年12月	10.05	—	—	—	—	—	—
小計			10.05ha			—			—
d 土壌改良資材施用	・pH改良剤の施用 ・たい肥	令和7年8月～令和7年12月 令和7年8月～令和8年1月	7.15 2.90	—	—	—	—	—	—
小計			10.05ha			—			—
事業ほ場面積 (実面積)			10.0ha			—			—

小数第2位まで記載します。

小数第1位まで（小数第2位切り捨て）記載します。

実績報告書の別紙の3から転記します。

- (注) 1 取組内容欄には、事業実施計画に基づき実施した取組の内容及び使用した資材等を記載する。
- 2 取組時期欄には、当該取組が行われた年月を記載する。
- 3 事業ほ場面積欄には、当該取組が行われた面積を記載する。

- 4 1つの対策項目において、複数の取組を行った場合は、取組内容ごとに記載する。
- 5 事業ほ場面積（実面積）欄は、小数点第2位を切り捨て、ha単位で記載する。

〈添付資料〉

作柄安定技術の導入のための取組状況が確認できる資料の写し。

（例：作業日誌の写し及び取組写真、購入伝票の写し等）

ただし、既に提出している場合にあつては、省略することができる。

1年目の実施状況報告であつて、既に実績報告書等において提出済みの書類は添付不要です。

実績報告書の「ほ場内容」の様式を再利用する場合、こちらの記載の修正をお願いします。

(別添：8の①及び②の明細)

ほ場内容

No	事業参加農家名	事業ほ場の所在地(地番)	取組年次	事業ほ場面積(ha)	取組								備考			
					①生産・流通体系の構築及び出荷期間の拡大のための取組内容						②作柄安定技術の導入のための取組内容					
					a	b	c	d	e	f	g	a		b	c	d
1	構成員a	港町麻布台1丁目1～2	1年目	0.50	表示標の設置	事前契約の締結	加工用品種の導入	〇〇機の導入	〇〇の導入	〇〇〇〇の実施	××××の活用	プラウ耕、高畝栽培	寒冷紗	pH改良剤		
			2年目													
			3年目													
2	構成員b	港町麻布台1丁目3～4	1年目	2.10	表示標の設置	事前契約の締結	加工用品種の導入	〇〇機の導入	〇〇の導入	〇〇〇〇の実施	××××の活用	プラウ耕、高畝栽培	寒冷紗	たい肥		
			2年目													
			3年目													
5	構成員e	千代田村霞ヶ関1丁目3～4	1年目	0.85	表示標の設置	事前契約の締結	加工用品種の導入	〇〇機の導入	〇〇の導入	〇〇〇〇の実施	××××の活用	プラウ耕、高畝栽培	寒冷紗	たい肥		
			2年目													
			3年目													
事業ほ場面積(実面積)				10.0ha	<p>実績報告書の別紙の「ほ場内容(別添：2及び3の明細)」から転記します。 令和8年4月以降も出荷が継続した場合であって、実績報告時に予定を記入していた項目又は未記入の項目は、実績に修正します。</p>											

(注) 1 事業参加農家名欄には、事業に参加する農家全員をほ場ごとに記載する。(地続きの場合は複数のほ場をまとめて記入することも可)

また、記載欄が不足する場合、様式に記載欄を追加して記載する又は、別紙において一覧表を作成し添付することも可能とする。

2 事業ほ場の所在地欄には、番地まで記載する。

3 事業ほ場面積欄には、当該取組が行われた面積（小数点第3位を四捨五入し、ha単位で記載する。）を記載する。

4 期間中に1つのほ場で対象品目を複数回作付した場合には、ほ場の実面積を記載する。

5 事業ほ場面積（実面積）欄には、小数点第2位を切り捨て、ha単位で記載する。

6 取組の欄は、事業実施計画に基づき、取組内容を簡潔に記載する。

・記載欄が足りない場合は適宜追加してください。

・1ほ場のデータの途中で改ページされることの無いよう、適宜改ページ位置の調整をお願いします。